

# 科研費に77件採択 2020年度 新規は28件

2020年度の科学研究費助成事業(科研費)の専修大学の採択件数は新規と継続分を合わせて77件、直接経費93,325万円。このうち新規採択は28件だった(下表参照)。新規採択の研究種目別交付内定を公表した。

の内訳は、1人または複数の研究者が共同で行う「基盤研究」が22件、博士の学位取得後8年未満の研究者が1人で行う「若手研究」が6件だった。科研費は、競争的研究資金で、研究者の自由な発想に基づく研究を助成する仕組みの一つ。基礎から応用まであらゆる学術研究が対象となる。研究者からの申請に基づき、専門分野が近い複数の研究者が審査し、採択を決める。研究期間は基盤研究が3〜5年、若手研究が2〜4年。直接経費は、研究者が研究課題の遂行について自由に使える経費。独立行政法人日本学術振興会が4月、

## 2020年度 新規採択一覧

研究種目	氏名	所属・職名	研究課題名
基盤研究B	小池 隆生	経済学部教授	「生活最低限」の地域性と貧困の「農村的性格」を基礎にした貧困対策に関する調査研究
	飯 考行	法学部教授	津波・事故死亡事案における犠牲者遺族の活動と法と社会への影響に関する実証研究
	渡辺 達朗	商学部教授	商店街の多様性とコミュニティ対応力の評価：地域商店街活性化法の効果検証の観点から
	高岡 貞夫	文学部教授	高山地域のジオダイバーシティが生物多様性創出に果たす役割
	望月 俊男	ネットワーク情報学部准教授	一見矛盾する事実から真実を導き出す能力を育む協調学習環境の開発と実践的評価
基盤研究C	泉 留維	経済学部教授	地域循環型社会に向けた「木の駅」方式の地域通貨による資源管理に関する研究
	小西 恵美	経済学部教授	長い18世紀イギリスの都市化における小売業の役割
	西山 貴弘	経営学部准教授	多様な状況における統計的仮説検定方式の開発とその応用
	巴山 竜来	経営学部准教授	コンピュータ援用による旗領域の組み合わせ論的研究
	石川 和男	商学部教授	小規模零細小売・サービス事業者の事業承継課題と伝達ノウハウに関する研究
	櫻井 康弘	商学部教授	会計情報システムの組織適合性に関する総合的研究
	田島 真弓	商学部教授	人材紹介会社が東アジアのグローバル人材の国際間移動に果たす役割
	成岡 浩一	商学部教授	研究開発投資、イノベーションとその会計・開示行動
	本田 竜広	商学部教授	有限無限次元複素バナッハ空間の等質単位球上の正則写像に関する研究
	三浦 弘	文学部教授	英語の地域的変遷史を融合させた社会音声学の実践
	米村みゆき	文学部教授	日本統治期における児童文化の伝搬と受容に関する比較と調査研究
	廣川 和花	文学部准教授	医療記録からみる日本医療の「近代化」過程—医療費・家族・診療録—
	上杉 妙子	文学部非常勤講師	多民族国家の民軍関係に関する人類学的研究—インド陸軍ゴルカ兵を事例として—
	王 伸子	国際コミュニケーション学部教授	ナレーション音声による日本語教材の開発—効果の実証的研究と教材開発—
	根岸 徹郎	国際コミュニケーション学部教授	詩人大使クローデルの活動を通じた1920年代の日仏文化外交・交流の実態調査と研究
若手研究	早川真一郎	法務研究科教授	国際家族法における「子の最善利益」
	瀬戸口龍一	大学史資料室室長	明治期における経済学・商学教育の地方伝播に関する基礎的研究
	森田 公之	経済学部講師	育成を促すフィードバックについての理論研究
	李 春霞	経済学部助教	日本・中国企業の国際特許共同出願に関する研究
	高橋 脩一	法学部准教授	裁判手続のIT化と民事訴訟記録へのIT技術を通じたアクセスのあり方について
	池田 彩夏	人間科学部講師	幼児・児童における集団責任の認識の発達プロセスの解明
	大澤 逸平	法務研究科准教授	分割的因果関係論による責任成立論・減責論・求償論への包括的アプローチの可能性
	井上 弘樹	経済学研究科特別研究員	寄生虫症と地域社会をめぐる医療社会史：20世紀前半の日本と植民地期の台湾

# 知の発信



経済学部教授 泉 留維

## 科研費採択研究から

いろいろな生き物がつながって生態系を作り、その便益を受けて私たちの経済は成り立っています。私が専門とするエコロジー経済学(生態経済学)では、生態系の部分系として経済を捉え、人間の豊かさのあり方を探求しています。

人の手によって作り出された里山は継続的な利用と管理がないと維持できません。しかし過疎化、高齢化による担い手不足で放置山林は増加の一途をたどり、自然環境の劣化が進んでいます。こうした状況に歯止めをかけるための取り組みの一つが「木の駅」です。

間伐材を切り出し、所定の場に運び込めば地域通貨と交換。地域通貨は、その地域の商店で使い、間伐材もバイオマス発電や温泉など、可能な限りその地域で活用します。2009年から始まり、現在は全国約80カ所で稼働しています。地域通貨はさまざまな形態がありますが、近年立ち上げられたものの多くが「木の駅」方式です。

これまで地域の中でも忘れられていた林地残材を再評価し、里山の保全を図るほか、住民同士の交流を生んでいきます。今回の研究では「木の駅」導入による住民の意識変化、地

## 里山資源を生かす地域通貨「木の駅」

域経済の自立のために地域通貨が果たす役割について明らかにしていきます。

新型コロナウイルスの影響はいつ終わりがくるかわかりません。私たちは今般、グローバルなサプライチェーン(供給網)のもろさを目の当たりにしました。もう少しローカルなサプライチェーンを作る必要があるのではないかと。日本の場合、木材や農産物など海外依存度が高いですが、国内で作れないわけではなく、採算をとる方法もあるはず。もっと地域に目を向け、地域を強くしていくための手法の一つが地域通貨です。さらにそこに都市住民も関わり、交流人口を増やすことで、豊かな環境を後世に残していくことができると思っています。

(いずみ・るい) 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻博士後期課程単位取得退学、『 commons』と地方自治(共著)など。

## 2020専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会

### 中止のお知らせ

8月に予定しておりました2020専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会(主催:専修大学・神奈川県野球連盟/後援:神奈川県教育委員会・テレビ神奈川・神奈川新聞社)は、大会開催に向けて検討を重ねてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止という苦渋の決断をすることといたしました。

学童、関係者の皆様には大変残念な結果となりましたが、なにとぞご理解のほど、よろしくお願いたします。

来年の大会で、またお会いできることを心より楽しみにしております。



**神田10号館1階 喫茶室オープン**

10号館1階の喫茶室「SENDAI-Kaffe」が7月17日(金)にオープンする。時間は月々金曜の11〜17時。



**計報**

中谷和夫氏(なかに)が元文学部教授として引退した。

**「ちよくる」レポート 神田10号館に設置**

「ちよくる」の専用ポスター(貸し出し・返却場所)が設置されている。利用には会員登録が必要。

5月24日、84歳で死去。1967年から72年、94年から2006年まで在職。専門は認知心理学。

本書は、最新作を視野に、この『鳳鳴』のシナリオを翻訳、徹底的に解説した鼎談を柱とし、監督へのインタビュー、研究者の論文、詳細な作品解説を付しています。(ポット出版プラス・本体3600円+税)

編著者(つちや・まさあき) 国際コミュニケーション学部教授。中国語、中国歴史。

**地域とつむぎ** 社会貢献活動

神田10号館に、千代田区コミュニティサイクル「ちよくる」の専用ポスター(貸し出し・返却場所)が設置されている。利用には会員登録が必要。

ドキュメンタリー作家 王兵 現代中国の叛史

00万人以上が餓死したという「大飢饉」があり、中国国内ではタブーです。それを8時間の作品にした監督の手腕は、世界から高く評価されています。

インタビューされた一人、和鳳鳴の映像はすでに『鳳鳴』として単独に発表し、高く評価されています。

本書は、最新作を視野に、この『鳳鳴』のシナリオを翻訳、徹底的に解説した鼎談を柱とし、監督へのインタビュー、研究者の論文、詳細な作品解説を付しています。(ポット出版プラス・本体3600円+税)

編著者(つちや・まさあき) 国際コミュニケーション学部教授。中国語、中国歴史。

**専修人の新しい本**

経済政策形成の論理と現実

野口旭 著

本書は、経済政策とは何かを、現実の経済政策を素材にしたがら論じた上で、問題点がどこにあるのかを明らかにする。経済政策を生み出すのは専門世界であるが、それを最終的に承認するのは一般社会である。したがって、経済政策がその本来の目的にかなうためには、専門世界と一般社会との健全な関わりが必ず必要不可欠なのである。(専修大学出版局・本体2800円+税)

著者の(つちや・まさあき) 経済学部教授。現代経済入門、国際経済論。